



きょうかい  
こんな教会にしましょう！

こうふきょうかい きょうかいいんちょう あいかわ りゅうじ  
カトリック甲府教会 教会委員長 相河 竜治

しんと みなさま わたし がつ きょうかいいんかい ねんど きょうかいいんかい じゅうてんかつどうけいかく  
信徒の皆様、私は1月の教会委員会で「2025年度 教会委員会 重点活動計画」  
としてこれからこういう教会にしたいという提案をしました。それをもとに物語を作りま  
したので、是非、お読みください。これはフィクションですのでご承知おきください。なお、  
わたし あいかわ かくう じんぶつ  
「私」も相河のことではなく、架空の人物です。

わたし しごと にんげんかんけい つか い きりよく うしな で  
私は仕事とその人間関係に疲れ、生きていく気力を失ってしまいました。出るのはた  
め息と「死んでしまいたい・・・」という投げやりな言葉だけ。そんな時にカトリック甲府教会  
いき し な ことば と き こうふきょうかい  
に通う同じ職場の友だちに教会に誘われました。こんな苦しい人生から救われたくて、そ  
かよ おな しよくば と も きょうかい さそ くる じんせい すく  
の友だちについてある日曜日にカトリック甲府教会に行ってみました。

いちばんおどろ きょうかい しんと みな い い しあわ  
一番驚いたのは、教会にいる信徒の皆さんがみんな生き生きしていて 幸せそうなこと。  
えがお かがや しんせつ たの こえ をかけてくれたこと。信徒の皆  
す きら たが あい あ つよ かん  
さんが好き嫌いなくお互いに愛し合っていることが強く感じられ、そこにいることが居  
ごこちよ き しぜん おも てんごく ところ おも  
心地良く、また来たいと自然に思えました。そして、ここは天国みたいな所だと思いま  
た。しばらく教会に通うと、外国語グループの方々が教会の中で主役として活躍しており、  
びょうどう なん さべつ こくさいしよくゆた きょうかい かん さまざま いんかい  
平等で何の差別もなく国際色豊かな教会であることを感じました。また、様々な委員会や  
かい かがたが かつやく しんと みな うんえい きょうかい  
会の方々が活躍しており、信徒の皆さんが運営している教会であることがわかりました。  
さらに、その委員会や会の方々の仲が良く、それぞれが尊重し合い受け入れ合い愛し合っ  
ていことを強く感じました。それ以外にも、そうしたところに所属してはいませんが、自  
すす さまざま ほうし かた すば きょうかい おも  
ら進んで様々なご奉仕をしてくださる方もいて、素晴らしい教会だと思いました。よく  
かんきつ しんと みな じぶん おも かみさま みこころ じっせん  
観察していると、信徒の皆さんが自分の思いではなく、神様の御心を実践しようとしている  
ことがわかりました。何よりも神様に対する感謝の心で満ちあふれていることを感じまし  
た。

しんと みな にゅうもんこうざ はい きょう きょうかい べんきょう  
信徒の皆さんに『カトリック入門講座』に入ってキリスト教と教会の勉強をしてご  
らんないと言われ、次の週が第1日曜日だったので、午後1時からの講座に早速参加し

ました。入信志願者の方も数名いて安心したのですが、それよりも驚きありがたく思ったのは洗礼を受けた大勢の信徒の皆様がボランティアとして参加しており、私たち洗礼志願者を優しくサポートして下さったことです。そこでは堅苦しい勉強ではなく、エクササイズと呼ばれるテーマを決めた分かち合いを行い、その中でたくさんの方の大切な気付きを得ることができました。私のつたない話もみんな真剣に聞いて下さり、私が尊重されて受け入れられ、皆様から愛されていることを感じました。

『レクチオ・ディヴィナ』にも誘われ参加すると、そこにはたくさんの方の信徒の皆さんが参加しており、皆さんのお話を聞きながら聖書の理解が進み、私もわからないながらも感じたことを話すことができ、ともに聖書の真理を追究する仲間であることが実感できました。この2つに参加して、少しずつイエス・キリスト様に対する信仰心が芽生えてくることを感じました。信徒の皆さんも「自分の信仰が深まっていることを感じている」とおっしゃっていました。

何回か教会に通っていると、今度の土曜日は復活徹夜祭で、『カトリック入門講座』の洗礼志願者の仲間が洗礼を受けることを教えていただきました。夜のミサだったので意を決して参加すると、そこでは洗礼・堅信・初聖体の秘跡が行われ、神父様や信徒の皆様から温かく祝福され、私も気がつく感動で止めどなく涙があふれてきました。私も絶対に洗礼を受けたいという決意を強く持つことができました。

次の日は復活祭のミサとパーティーが行われ、私も参加しました。女性会をはじめとして美味しい食べ物やお茶が提供され、各外国語グループの楽しい出し物が出され、教会学校をはじめとする日本人信徒の素敵な出し物もあり、笑ったり感動したり心もおなかも満たされた一日を過ごすことができました。

また、今年から『映画会』が開催されるということで、「教会の映画って果たして面白いのだろうか？」とちょっぴり疑う気持ちを持ちながら参加したのですが、上映された『ブラザーサン・シスタームーン』は大変素晴らしく、感動で心が一杯になり、最後のシーンでは涙が頬を伝っていました。その後の信徒の皆様との分かち合いも素晴らしいひとときでした。

そんな素晴らしい教会生活を過ごしていたのですが、職場での人間関係の悪化が心に強くのしかかり、日曜日に教会に行く気力すら失っていました。そんな時、たくさんの方の信徒の方からお電話があり、温かくそして優しく励まして下さり、気がつく再び日曜日に教会に行く心を取り戻していました。やがていつしか信仰心の薄かった私の心にも信仰の火が灯され、教会に行き信徒の皆様と過ごしているとそこにイエス・キリスト様とともにいらっしゃることを感じられるようになりました。

やがて神父様から許しを得て私も感動の洗礼・堅信・初聖体を受けることができ、信徒の一人になれるだけでなく、神父様のご指導の下いつしかごミサの最中に聖霊様に満たされる体験もすることができるようになりました。洗礼と同時にブロックに入れていただき、ブロックを中心に教会の掃除だけでなくブロックの茶話会も開かれ、教会でのあたたかな人間関係がますます広がって幸せを感じています。ミサの後に有志による喫茶コーナー

が開設される噂も聞くようになりました。そして、主イエス・キリストの御力と私が明るく変わることによりいつしか職場の人間関係にも変化が現れ、今では職場に通うのも苦痛ではなくなってます。教会生活が愛に満ち楽しいものとなってきました。私を教会に誘ってくれた友だちと私を温かく迎え入れて下さった信徒の皆様、心から感謝しています。

以上はフィクションです。ですが、このような教会であれば自然と人が集い、新しい信徒が増え、様々な教会の問題も解決するのではないのでしょうか。私はこのような教会を目指したいと思っています。

## 城壁外の聖パウロ大聖堂で聖年の扉開く

ローマの城壁外の聖パウロ大聖堂で、聖年の扉が開かれた。これによりローマの4つの教皇直属バシリカのすべての「聖なる門」が開いた。



1月5日(日)、ローマの城壁外の聖パウロ大聖堂(サン・パオロ・フォーリ・レ・ムーラ)で、聖年の扉が開かれた。

ローマのアウレリアヌス城壁からおよそ2km外側、オスティア街道沿いにある、城壁外の聖パウロ大聖堂は、使徒聖パウロが殉教後埋葬された場所に、ローマ皇帝コン

スタンティヌス1世が教会を建て、324年に献堂したものを起源とする。

その後、皇帝テオドシウス1世により386年に着手され、390年に献堂されたバシリカは、時代ごとの改築・改装を経ながらもその形を伝え続けたが、1823年の火災で大部分が焼失することになった。教皇レオ12世が再建を開始し、ピオ9世の在位中1854年、焼失以前の形にほぼ忠実な聖堂が完成、献堂式が行われた。

2025年の聖年を迎え、大聖堂の「聖なる扉」を開く儀式が、5日、主席司祭ジェームズ・マイケル・ハーヴェイ枢機卿によってとり行われた。

祈りに続き、ハーヴェイ枢機卿は「これは主の扉[...]正義の扉を開けてください[...]」との言葉と共に、扉を静かに押し開いた。

ハーヴェイ枢機卿を先頭に、代表の人々が扉をくぐり入堂した後、ミサが捧げられた。

説教で同枢機卿は、二千年にわたり主イエスの復活を告げながらこの世の道々を歩んできた教会共同体の一員として自らを感じ、先人たちの信仰をたどりつつ霊的な旅を開始して欲しいと、信者らに呼びかけた。

この日、城壁外の聖パウロ大聖堂の「聖なる扉」が開いたことで、ローマの4つの教皇直属バシリカのすべての聖年の門が巡礼者たちに開かれた。(バチカンニュースHpから抜粋)



# おしらせ



## 1 2025年度 信徒大会

2025年2月9日(日)11:30 ~ サントルチア講堂にて「2025年度信徒大会」が行われます。

## 2 献堂100周年記念行事

献堂100周年記念行事が、9月23日に決定いたしました。詳細は決まり次第お知らせいたします。

## 3 典礼委員会

灰の水曜日のための枝の回収を2月9日(日)から3月2日(日)まで行います。聖堂入り口に箱を用意しますので、そちらに入れて下さい。よろしく願いいたします。

## 4 地域福祉委員会

年末にかけてご寄付いただきましたカレンダー114本 1月1日に老人ホーム等福祉施設へ贈ることができました。ご協力ありがとうございました。

## 5 女性会

「世界祈祷日祈りの会」 3月1日(土)10:00~11:00 甲府教会聖堂にて行います。男性や外国語グループの方などどなたでも参加できます。たとえば、和解と平和を求める祈りや被災者のための祈りなどテーマは、それぞれです。みんなで心をひとつにして祈りの時を持ちましょう。その後茶話会があります。

## 6 カトリック甲府教会ホームページのリニューアル

ホームページがリニューアルされました。スマートフォンからも見やすくなりました。

かくいいんかい についで  
各委員会の日程

じょせいかい 女性会	2月 2日(日)	11:30 ~	ドミニコの部屋
きずなのかい きずなの会		お休み	
てんれいいんかい 典礼委員会	2月15日(土)	9:30 ~	センターホール
ちいきふくしいんかい 地域福祉委員会	2月16日(日)	11:30 ~	センターホール
こうほういいんかい 広報委員会	2月23日(日)	11:30 ~	センターホール
せいかたい 聖歌隊	2月 2日・16日	9:00 ~	聖堂

## 聖年のロゴ



このロゴマークは、地球の四方から集まってきた全人類を、四人の図案化された人物によって表現しています。彼らは抱き合っていて、すべての民を結びつける連帯と友愛を示しています。

先頭の人物は十字架をつかんでいます。それは、抱いている信仰のしるしであるだけでなく、捨て去ることのない希望のしるしでもあります。なぜなら、希望はいつでも、そして深く困窮しているときにはとくに、求められるものだからです。

人物の下に押し寄せる波は、人生の旅がいつも穏やかな歩みであるとは限らないことを示しています。個人的な出来事や世界に起きていることの多くは、より強く希望を求めさせるものです。ですから、長く伸びて、錨の形に変わって波に下ろされている、十字架の下部が強調されているのです。ご承知のとおり、錨は希望の比喩としてよく用いられます。事実、船乗りの符牒では、嵐の際に船を安定させるため、緊急発動するボートによって投錨される予備の錨のことを「希望の錨」といいます。

このロゴが表すものとして見逃してはならないのは、巡礼の旅は個人的なものではなく共同体的なもので、よりいっそう十字架へと向かっていくダイナミズムを備えたものだという事です。この十字架は、静的ではなく動的なものです。人類を捨て置かず、人類に向かって身を伸ばして、存在の確かさと全き希望とを与えてくださるのです。

ロゴの下部には、2025年の聖年のテーマ「希望の巡礼者」が、緑の文字で鮮やかに記されています。

せいねん いの  
聖年の祈り

てん ちち  
天の父よ、

あなたは、わたしたちの兄弟、御子イエスにおいて信仰を与え、

せいれい  
聖霊によってわたしたちの心に愛の炎を燃え上がらせてくださいました。

しんこう あい  
この信仰と愛によって、

かみ くに おとす ま のぞ しゅくふく み きぼう  
神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、

わたしたちのうちに呼び覚まされますように。

あなたの恵みによって、わたしたちが、

ふくいん たね そだ もの か  
福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。

たね あたら てん あたら ち たし きたい  
この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもって、

じんるい ゆた せいちょう  
人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。

そのとき、悪の力は打ち払われ、

えいこう えいえん ひか かが  
あなたの栄光が永遠に光り輝きます。

せいねん めぐ  
聖年の恵みによって、

きぼう じゅんれいしゃ  
希望の巡礼者であるわたしたちのうちに、

てん たから  
天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、

あがないしゅ よろこ へいわ ぜんせかい い わた  
あがない主の喜びと平和が全世界に行き渡りますように。

えいえん かみ  
永遠にほめたたえられる神であるあなたに、

えいこう さんび よよ  
栄光と賛美が世々とこしえにありますように。

アーメン。

Franciscus

## し じゅんせつもくそうかい 四旬節黙想会について (おしらせ 第1弾)

し じゅんせつもくそうかい しどう せんきょうかい かいいん  
四旬節黙想会を指導して下さるのは、カトリック宣教会「セルヴィ・エヴァンジェリー」会員  
にしむらももこ しどう もくそうかい はじ かた おお  
のシスターの西村桃子さまです。シスターが指導して下さる黙想会は初めての方が多いため  
ぜび さんか たいけん おも けいれき つぎ とお  
す。是非、ご参加いただき体験していただきたいと思ひます。その経歴は次の通りです。

けいれき じょうちだいがくがいくこくごかくぶ こ がっかそつぎょうこ だいがくいんはくしぜんきかていしんがくけんきゅうかしんがくせんこう  
経歴：上智大学外国語学部ポルトガル語学科卒業後、大学院博士前期課程神学研究科神学専攻  
しんがくしゅうし にほん ねんいじょう せんきょうかつどう じゅうじ げんざい よこはま  
(神学修士)。日本・フィリピン・アルゼンチンで25年以上、宣教活動に従事。現在は横浜  
きょうく きょてん おも わかもん こりゅう たいわ とお い いみ あい じゅう  
教区を拠点に、主に若者との交流や対話を通して、「生きる意味」「愛」「受容」などにつ  
かんが ぶか とく しゅうどうかい ぶんしよ かいぎ ほんやく つうやく  
て考えを深めてもらおうと取り組んでいる。また、修道会などの文書・会議の翻訳・通訳  
えいご こ にほんご おこな きょうこう ちよしよ かいちよく 「きょうだい みな  
(英語・スペイン語⇄日本語) も行い、教皇フランシスコの著書「回勅『兄弟の皆さん』」  
はっこう ちゅうおうきょうぎかい ほんやく たんとう  
(2021年9月発行/カトリック中央協議会)の翻訳も担当。

また、カトリック教会の方針や課題についてバチカンで話し合う「シノドス」の第16回通常  
きょうかい ほうしん かだい はな あ だい かいつうじょう  
総会で、これまでは高位の聖職者が担ってきた議長団に女性として初めて任命。日本シノ  
そうかい こうい せいしよくしゃ にな ぎちょうだん じよせい はじ にんめい にほん  
ドス特別チームのメンバー。

すば ぜび こうわ き もくそうかい たいけん  
このように素晴らしいシスターですので、是非、ご講話を聴き黙想会を体験していただきたいと  
おも  
思ひます。

1. にちじ  
日時：2025年3月15日(土) 10時～15時
2. かいじょう こうふか とりくきょうかい せいどう  
会場：甲府カトリック教会 聖堂
3. しどう せいじょうかい かいいん  
指導シスター：シスター西村桃子(カトリック宣教会「セルヴィ・エヴァンジェリー」会員)
4. たいしよくしゃ こうふきょうかいしんと たきょうかいしんと せんれいしがんしゃ  
対象者：甲府教会信徒、他教会信徒、洗礼志願者
5. さんかもうしこみきげんおよ ほうほう  
参加申込期限及び方法
  - (1) きげん  
期限：2025年3月9日(日)
  - (2) もうしこみほうほう  
申込方法
    - ① こうふきょうかいしんとおよ せんれいしがんしゃ けいじばん もうしこみようし きめい  
甲府教会信徒及び洗礼志願者 センター掲示板の申込用紙にご記名ください。
    - ② たきょうかいしんと こうふきょうかいいんちよう あいかわ  
他教会信徒 甲府教会委員長(相河) メール aik00578223@gmail.com  
携帯 090-6191-5157
6. プログラム
  - ① しゅにんしさいあいさつ しどう しょうかい せりざわしんぶさま  
主任司祭挨拶と指導シスターの紹介(10時～10時10分) 芹沢神父様
  - ② こうわ せいじょうかいしんと  
ご講話(10時10分～12時00分) シスター西村桃子さま
  - ③ ちゅうしょく  
昼食(12時～13時)
  - ④ わ あ しょうさい にしむら そうだんちゅう  
分かち合い(13時～15時) ※このプログラムの詳細はシスター西村と相談中です



## 今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



2月 2日（日）	しゅ ほうけん 主の奉献 祝 (年間第4週)	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
2月 7日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
2月 9日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第5主日	10:30 15:00	ミサ しんとたいかい 信徒大会 ポルトガル語 (Português)
2月16日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第6主日	10:30 12:30	ミサ 韓国語ミサ ( 한글 )
2月23日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第7主日	10:30 14:00	ミサ 英語ミサ (English)
3月 2日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第8主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
3月 7日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ



※ げつていけんきん (Monthly Donation) 振り込み先

山梨中央銀行 本店営業部 普通 188674  
甲府カトリック教会

※ ぼちかんりひ (Cemetery Management Costs) 振り込み先

山梨中央銀行 本店営業部 普通 1402890  
甲府カトリック教会